

国語プリント No. ()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

現代文 研究課題

「テキストにあたる」ということを意識して継続的に学んでいる。今までは課題を考え、作成することでテキストにあたってきたが、今回は、テキストにあたること自体を目標とし、それが明示できる課題を工夫して作成する（期待を上回る）ということをおこなう。

【課題対象】

次のどちらかを選んで課題を作成する。

二四九頁「人間の時間について」
二六〇頁「自己演技と表情」

【課題内容】

自分で課題（問題）を設定し、自分で解決していく。
形式は基本的に自由である。

メディア（媒体）・形式も自由である。ただし、提出課題であるので、ペン書きすること。

【評価基準】

「テキストに十分あたった」ということがよく伝わってくるか。

その文章についてあまりテキストにあたっていない人もその課題が読み取りの手助けになるか。
オリジナリティー。

授業時間に相当する量と質であること。

【課題例】

漠然と示されても戸惑うと思うので、例を示すが、参考程度にすること。

「水平の時間」と「垂直の時間」を図解する。

自分の今までの人生における様々な場面を示し、それぞれが「日常的な時間」なのか、「神話的な時間」なのかを説明する。

「時間」という語が含まれる語を全て抜き出し、それぞれはどのようなグループ分けになるのか図示する。

なぜ日本には敬語が多様化しているのか説明する。

日本における「気まずさ」と、外国の「気まずさ」の原因の違いを図解する。
オフィスにおいて女性とぶつかることが多くなったその根本の原因を論ずる。

【その他】

課題対象の2つの文章は、期末考查の範囲である。一方を選べば、もう一方の学びが薄くなるが、それぞれ発表の時間を設けるので、そのときに相手にわかってもらい、クラス全員が2つの文章を分かるようになる。

まずは裏の課題説明ワークシートを作成し、OKをもらってから、課題作成を始めること。

課題説明締め切り 月 日 () 課題提出締め切り 月 日 ()

課題説明ワークシート（構想シート）

3 年 組 番 名 前

選んだ作品に をつける。

- ・ 人間の時間について
- ・ 自己演技と表情

タイトル

課題のタイトル（課題の内容がすぐに分かるタイトルにすること。）

内容

どんな課題（問題）を設定し、どのような解決の仕方、表記の仕方をするのか簡単に書く。

教師記入欄